

# 平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	中央区
学 校 名	大阪市立中央小学校
学校長名	札幌 俊二

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）
  - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
  - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- (2) 質問紙調査
  - ・児童に対する調査
  - ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・中央小学校では、第6学年 118名

## 平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語A・B、算数A・Bのいずれも、平均正答率は大阪市平均・全国平均を上回っている。  
 (全国比 国語A⇒+1.2ポイント 国語B⇒+3.5ポイント  
 算数A⇒+1.4ポイント 算数B⇒+1.1ポイント) また、国語はA問題(「知識」に関する問題)よりも、B問題(主として「活用」に関する問題)の方が大きく上回っていることが特徴である。平均無答率も大阪市平均・全国平均を大きく下回っている。

## 分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

国語A・Bともに大阪市平均・全国平均を上回っている。「話すこと・聞くこと」の正答率が高く、言語活動を取り入れた授業形態の成果となっている。一方で「書くこと」「読むこと」に関する問題の正答率が全国平均を僅かではあるが下回っている。様々な文章の特徴に応じて調べたことや考えたことなどを適切に書いたり、文章を読んでその内容や要旨、構成を理解したりすることに課題があると言える。

### 〔算数〕

算数A・Bともに大阪市平均・全国平均を上回っている。「量と測定」に関する問題の正答率が高く、日常生活の問題の解決に向けての活動が充実していることがわかる。一方で「数量関係」に関する問題の正答率が全国平均を僅かではあるが下回っている。数直線などを用いて割合の関係をとらえる活動や、筋道を立てて考えたことを説明する指導の充実を図る必要がある。

質問紙調査より

- ・放課後や土・日など学校の授業時間外に勉強する時間が多く、家庭学習の定着が図られている。
- ・困っている友だちを見かけたときは、進んで手助けをする児童の割合が高い。近年学校で取り組んでいる相手の気持ちを考える、寄り添うといったピア・サポート活動の成果が表れていることがわかる。また、いじめについてもどんな理由があっても絶対に許されるものではないという認識がゆきとどいている。
- ・授業中に友だちと話し合う活動がよく行われており、昨年度から取り組んでいるペアやグループでの話し合い活動を重視した協同的な学習の成果が表れていることがわかる。

## 今後の取組

- ・習熟度別少人数授業の更なる深化・強化を図り、児童のつまずきやその原因を把握し、個に応じたきめ細やかな指導を継続的に行っていく。またどの教科や活動においても言語活動の充実に重点を置き、言語力はもちろん、論理的思考力の更なる育成に取り組んでいく。
- ・朝の読書タイムを継続的に実施し、読書好きを増やしていく。そのためにも学校図書館活性化事業に積極的且つ組織的に取り組んでいく。
- ・「特別の教科 道徳」の導入に向けての研修を重ねていく。
- ・基本的な生活習慣が身に付くよう、学校・家庭・地域と連携し児童の健全育成に努める。
- ・教員の資質・授業力向上に向けて、今後も計画的に外部から講師を招聘し研究授業等の校内研修の充実を図っていく。

## 【 全体の概要 】

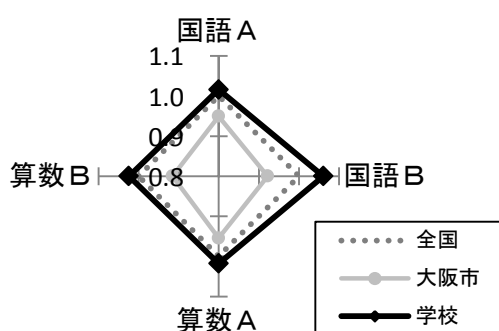
### 平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	76	61	80	47
大阪市	71	53	75	42
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

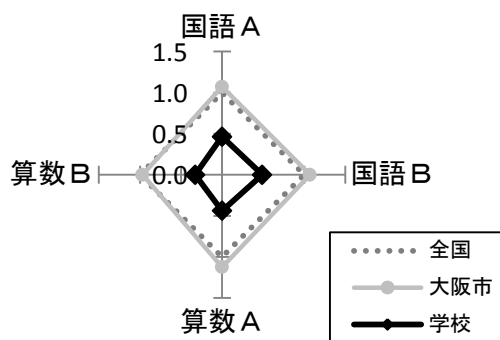
### 平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	1.3	2.1	0.7	2.1
大阪市	3.0	4.6	1.8	6.2
全国	2.8	4.3	1.6	6.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



## 【 国語 】

### A 問題

平均正答率(%)

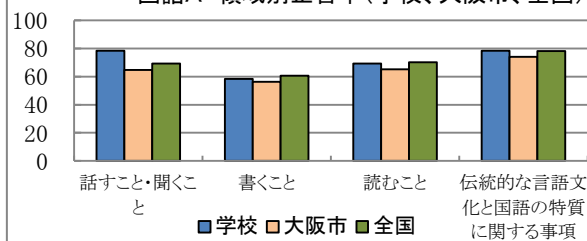
	学習指導要領の領域等	項目	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	1	78.2	64.6	69.2	
書くこと	2	58.2	56.2	60.6	
読むこと	3	69.1	65.2	70.2	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	78.4	74.0	78.0	

### B 問題

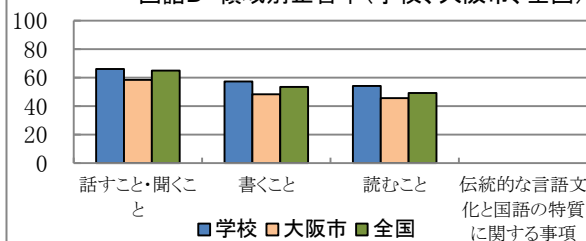
平均正答率(%)

	学習指導要領の領域等	項目	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	66.1	58.4	64.9	
書くこと	5	57.3	48.3	53.4	
読むこと	3	54.2	45.5	49.2	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—	

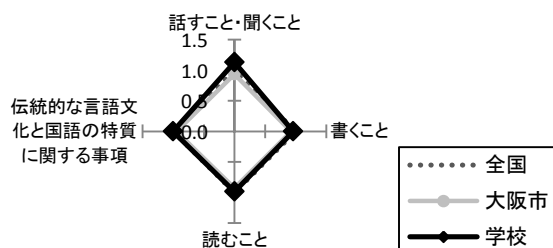
国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



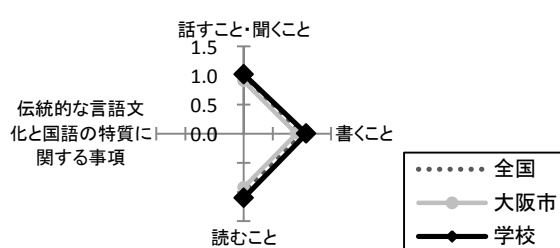
国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語A 領域別正答率(対全国比)



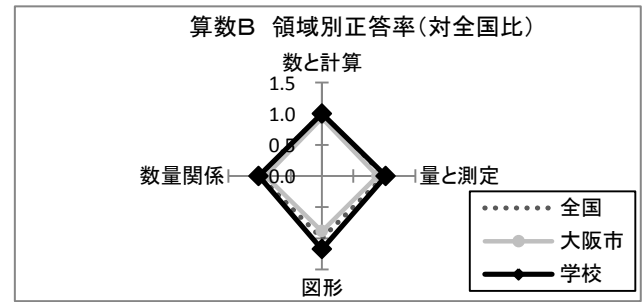
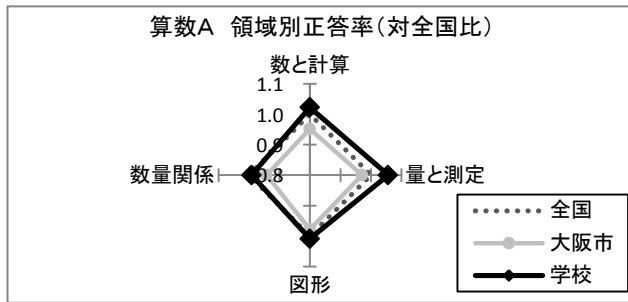
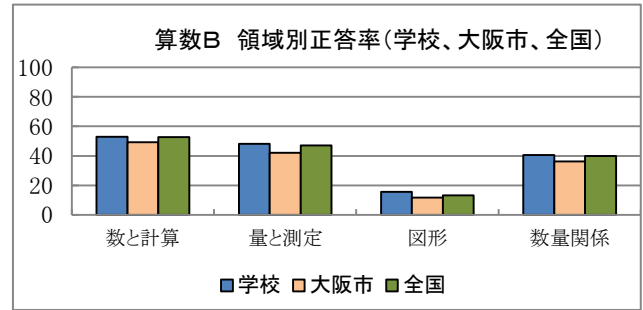
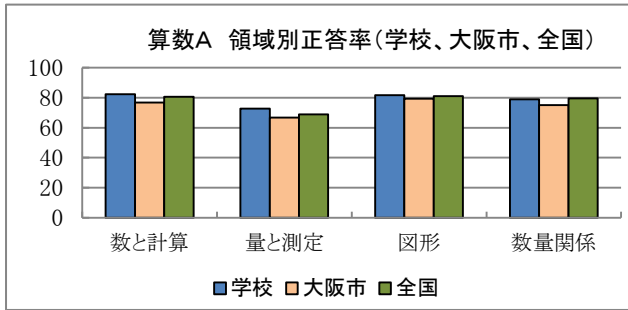
国語B 領域別正答率(対全国比)



# 【 算 数 】

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	8	82.4	76.7	80.6
	量と測定	2	72.7	66.8	68.8
	図形	2	81.8	79.3	81.1
	数量関係	5	78.9	75.0	79.6

B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	5	52.9	49.2	52.8
	量と測定	2	48.2	42.0	47.0
	図形	1	15.5	11.7	13.2
	数量関係	8	40.6	36.1	40.0



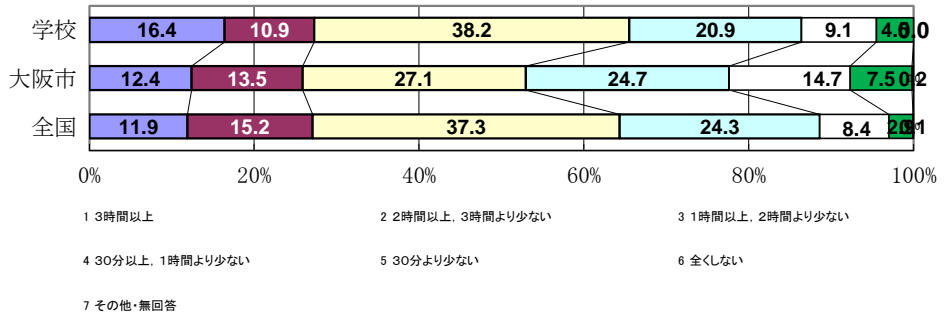
# 児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号  
質問事項

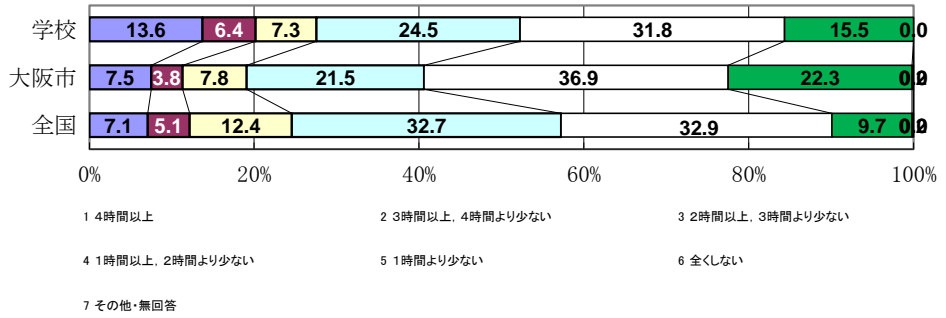
15

学校の授業時間以外に、  
普段(月曜日から金曜日)、  
1日当たりどれくらいの時間、  
勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



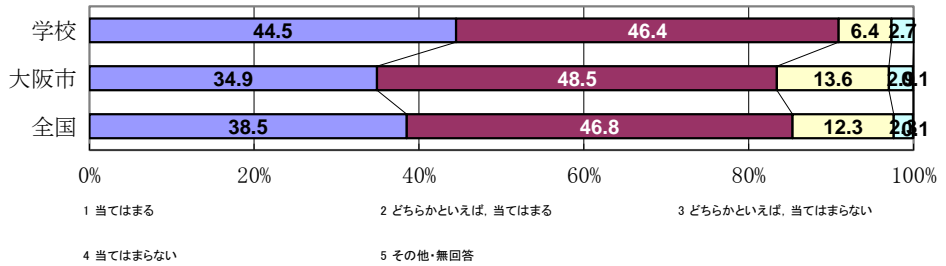
16

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



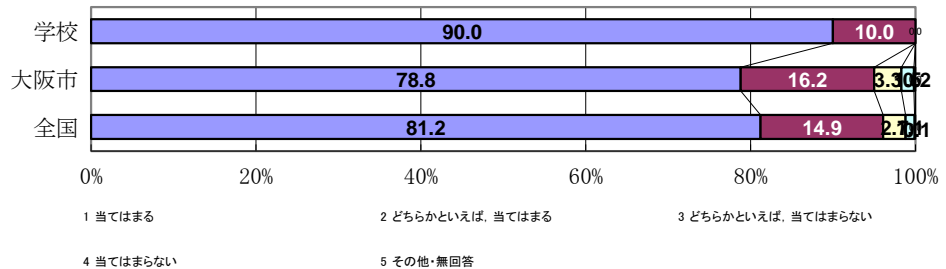
51

人が困っているときは、進んで助けていますか



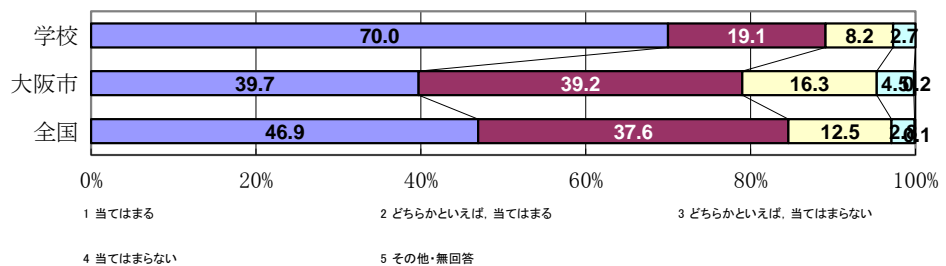
52

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



57

5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



# 学校質問紙より

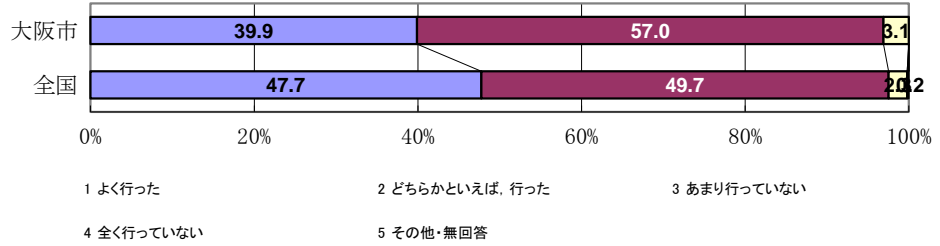
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10

質問番号  
質問事項

51

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ、児童に伝えるなど積極的に評価しましたか

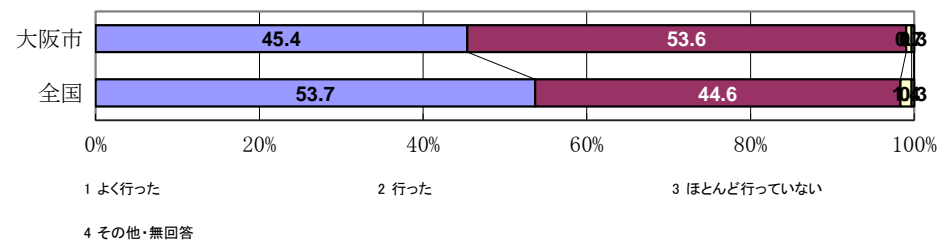
## 学校「よく行った」を選択



55

平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか

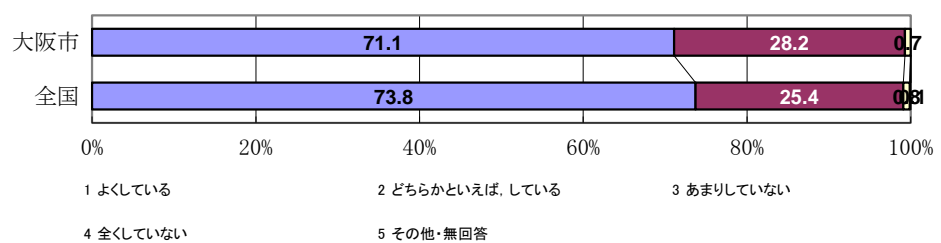
## 学校「よく行った」を選択



98

校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか

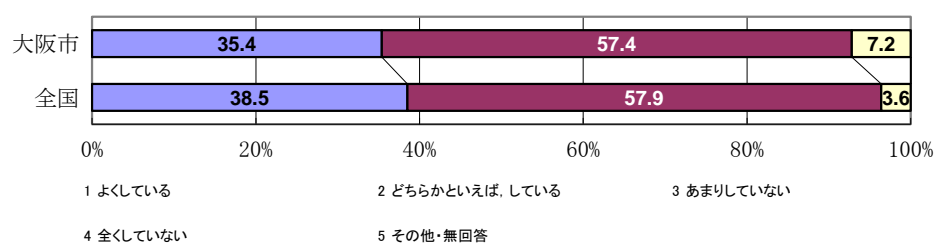
## 学校「よくしている」を選択



105

教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか

## 学校「よくしている」を選択



109

学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか

## 学校「よくしている」を選択

